

営 農 計 画

現在の経営状況を農地の種類ごとに記載。

1 現在耕作している農地等の経営状況

農地等の種類	主な作付作物	出荷先	販売額 (年額)
田	水稻	JA	50 万円
畑	玉ねぎ、ジャガイモ	自家消費	
樹園地	柿	産直市	5 万円
採草放牧地			

2 権利を取得する者が農業以外の職業や事業に従事している場合

職業又は事業の内容	従事日数
会社員	年間 250 日

権利取得者が農業以外の職業に従事している場合に記載。

3 申請地の耕作計画等

(1) 主な作付予定作物 (施設整備等をする場合、整備内容と併せて記載する。)

農地等の種類	主な作付予定作物	整備する施設等	出荷予定先	販売見込額 (年額)
田				
畑	トマト	ビニールハウス	産直市	10 万円
樹園地				
採草放牧地				

新たに取得する農地の耕作計画を記載。ビニールハウス等を整備する場合は、整備する施設等の欄に記載。

(2) 必要作業日数 (年間) 及び作業者

農地の種類	必要作業日数	作業者 ※
水稻	年間 100 日	申請者・世帯員 (●●●●)・雇用者 (年間 日)
野菜	年間 100 日	申請者・世帯員 (●●●●)・雇用者 (年間 日)

※作業者を○すること。世帯員が作業する場合は () に氏名を記載すること。

4 通作方法等

耕作に必要な年間の作業日数及び作業者を記載。

通作距離 (片道)	所要時間 (片道)	交通手段
約 20 km	約 30 分	自家用車

自宅と農地までの通作距離等を記載。

5 新規就農者など農作業経験のない場合、農機具の整備計画及び技術習得の方法など

例：中古農機具を購入する。リースで借りる。

農業経験がない場合は、農機具の整備計画等を記載。